

# 臨床工学科開設記念講演会

森ノ宮医療大学×大阪急性期・総合医療センター 連携事業

# 市民公開講座

治療・予防から社会復帰へのケア～最近の進歩～

平成30年度 第1回 (通算第19回)

# 命を守る 臨床工学



司会

森ノ宮医療大学  
学長 荻原 俊男

2018年4月15日(日)

森ノ宮医療大学 コスモホール

10時～受付開始

10時30分～基調講演

定員300名(先着順)

事前申込不要 無料



基調講演

臨床工学科

学科長/教授 片山 俊郎

## 咲洲あいのもり

森ノ宮医療大学は相愛大学・住之江区役所と連携し、健康をテーマに“咲洲あいのもり”プロジェクトを推進しています。



想いのすべてを、医療の力に。

## 森ノ宮医療大学

森ノ宮医療大学は、大阪市健康増進計画「すこやか大阪21」の趣旨に賛同し、「すこやかパートナー」として活動しています。



すこやか大阪21



# プログラム

10:00 -	受付開始
10:20 - 10:25	もりもり元気体操実演
10:25 - 10:30	開会挨拶 学長 荻原俊男
10:30 - 11:10	基調講演 「命を守る臨床工学」 片山俊郎 森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床工学科 学科長/教授
11:10 - 11:25	講演Ⅰ 「人工透析の進歩」 中村年宏 大阪急性期・総合医療センター 臨床工学室 臨床工学技士
11:25 - 11:40	講演Ⅱ 「手術と臨床工学」 加納寛也 森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床工学科 准教授
11:40 - 11:55	講演Ⅲ 「暮らしと工学機器」 清水容子 森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科 教授
11:55 - 12:00	閉会挨拶 学長 荻原俊男



## 基調講演「命を守る臨床工学」

森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床工学科 学科長/教授 片山 俊郎

心臓手術時に心臓と肺を代行する人工心肺装置、血液中の老廃物を取り除く人工透析装置、自力呼吸ができない場合に呼吸を代行する人工呼吸器といった生命に重大な影響を及ぼす生命維持管理装置。操作ミスが許されないこれらの装置を安全に正確に操作するといった大きな責任を担い、命を守る臨床工学技士の職務を紹介します。(所属・職位は2018年4月からのものです)



## 講演Ⅰ「人工透析の進歩」

大阪急性期・総合医療センター 臨床工学室 臨床工学技士 中村 年宏

大阪急性期・総合医療センターでは臨床工学技士が20名在籍し、人工透析や人工心肺などの医療機器に関する業務に携わっています。人工透析は体内に貯まった老廃物などを排泄する治療で、臨床工学技士は人工透析装置の操作や保守点検を行い、腎臓・高血圧内科の医師や看護師と協力し、医療機器のスペシャリストとして治療に貢献しています。



## 講演Ⅱ「手術と臨床工学」

森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床工学科 准教授 加納 寛也

心臓や大動脈手術中に“患者さんと手術を繋ぐ架け橋”となる究極の生命維持管理装置が人工心肺装置です。その操作・管理を臨床工学技士が行います。人工心肺なくして殆どの心臓・大動脈手術は不可能とされています。その心臓・大動脈手術が必要な病気や、その際に必要とされる人工心肺って何だろう？を説明したいと思います。(所属・職位は2018年4月からのものです)



## 講演Ⅲ「暮らしと工学機器」

森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科 教授 清水 容子

医療機器の進歩に伴い、人工呼吸器等の生命維持装置が自宅で使用可能となり、病院での生活を強いられていた人々が自宅に帰り、その人らしい生活を営まれています。人々の暮らしを支える医療機器類や看護の活動について紹介します。

## 森ノ宮医療大学



〒559-8611

大阪市住之江区南港北 1-26-16

<http://www.morinomiya-u.ac.jp/>

大阪市営地下鉄中央線コスモスクエア駅

②番出口 徒歩1分



## <問い合わせ先>

森ノ宮医療大学 大学経営企画室

☎ 06-6616-6911

## 今後の予定

6月17日(日) 第2回

「がん診療の最前線」

10:30~12:00

(受付10:00~)

10月28日(日) 第3回

「パーキンソン病」

13:30~15:30

(受付13:00~)